

\\ 学科それぞれの専門性を活かし、地域社会への貢献をめざす //

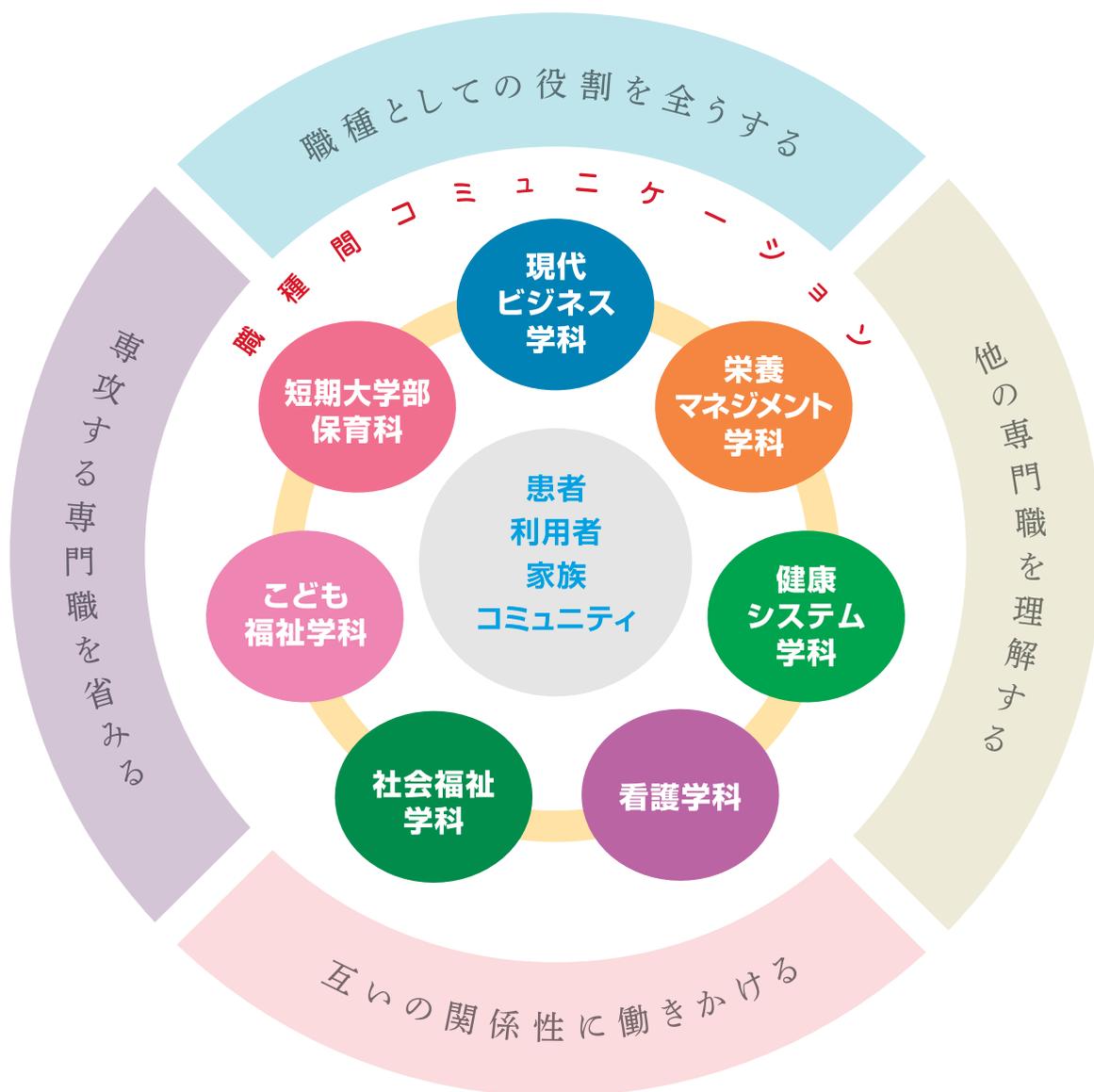
兵庫大学の多職種連携教育

多職種連携教育（IPE：InterProfessional Education）とは？

医療・福祉などのサービスを関係者が連携、協力して体系的に提供することが求められる現在、複数の領域の専門職が共有した目標に向けて共に働き、より質の高いサービスを提供することを目的とした「多職種連携」を効果的に実践するために、兵庫大学では学生のうちから「多職種連携教育」を行います。

兵庫大学では地域社会で起こり得る身近な課題を題材に、地域・医療・福祉・健康・教育分野の専門知識や技術を持ちより、地域社会における連携と協働を実践的に学びます。

兵庫大学7学科の多職種連携教育モデル



Point 1

小規模ながら7学科を擁する本学ならではの実践教育

医療・福祉・教育など様々な分野が関わる多職種連携。専門分野の異なる7学科の学生が互いを刺激しながら学べる環境が本学にはあります。

Point 2

共通教育科目として全ての学科で受講

多職種連携教育に関する2年間にわたる検証を経て、2019年度から全学生向けに授業科目として開講されます。

Point 3

地域社会を実践の場として活用できる機会が豊富

加古川市をはじめ地元行政機関や企業と連携し、学びの機会を豊富に用意。実践的に多職種連携の意義・必要性を学ぶことができます。

ヒューマンケアサービス従事者を志す大学生のシミュレーションを用いた多職種連携教育効果の検証



2017年度に引き続き、特別講座「シミュレーションを用いた多職種連携教育」を開催。支援を必要とする家族の事例に対し、参加した全学科の学生が活発な議論を交わしました。

- 開催日：2019年3月19日 ■ 場所：本学17号館シミュレーションセンター
- 参加者：現代ビジネス学科、健康システム学科、栄養マネジメント学科、看護学科、社会福祉学科、こども福祉学科の3年生、保育科の2年生 23名

C A S E

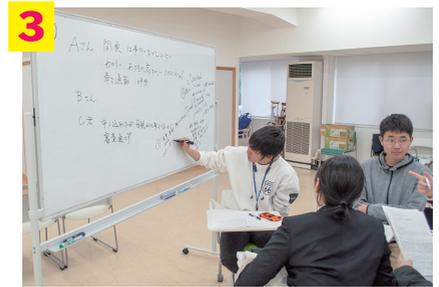
加古川市内に戸建てを購入した、多忙かつ生活習慣病を抱えた夫Aさん（40）と育児不安を抱えた妻Bさん（33）、そして幼い子ども2人の4人家族。一家が抱える課題を発見し、どのような支援を行うことで解消、改善へと導くことができるのかを検証しよう。



1 多職種連携とグループワークの理解
最初に多職種連携の意義、グループワーク実施上のポイントについて、看護学科の大植崇講師が講義を行いました。



2 グループディスカッション
続いて4つのグループに分かれてディスカッションを実施。互いの専門性を理解しながら意見交換を進めていきます。



3 支援計画の立案
学生それぞれの専門職としての見解を盛り込みながら、実際にカンファレンスシートに支援計画を記入していきます。



4 グループ発表
講座の最後には各グループがそれぞれまとめた支援計画をプレゼンテーション。グループメンバー全員が、自身の専門分野に関するアセスメントや支援計画について発表を行いました。



参加学生の声



今回学んだ多職種連携は、医療分野に限らず、例えば過疎化など様々な地域社会の課題解決にも応用している手法だと感じました。

■ 現代ビジネス学科2年 山下 凌



多職種連携の意義を実習中に理解はしていましたが、それを実践できる機会を得られたことで、自分の果たすべき役割が明確になったと思います。

■ 栄養マネジメント学科3年 大西 楓



地域で暮らす人の心身の健康を守るには、他の専門職の意見を聞きながら単一的でなく幅広い観点で考えることが大切だと実感できました。

■ 健康システム学科3年 本田 蒼生



自分の専門性のどの分野を実際の支援の場で活かせるか、また自分に足りないのはどの分野の知識なのかを理解できました。

■ 看護学科3年 江頭優香



専門職同士だけでなく、支援を必要とする人との橋渡しの役割となるのが、社会福祉士学科の私に求められる専門性だと実感しました。

■ 社会福祉学科2年 石田 祐生芽



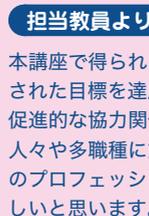
多職種連携には専門知識だけでなく、支援を必要とする人の意思など「情報」を引き出し、職種間で共有することの重要性も理解できました。

■ こども福祉学科3年 森本 優太



自分の主観にとらわれず正しい「情報」を引き出すこと、専門職それぞれの職務内容を理解し、尊重することが大切さを知ることができました。

■ 保育科第一部2年 金 奏希



担当教員より
本講座で得られた理解を基に、共有された目標を達成するために、相互促進的な協力関係を通じて、地域の人々や多職種に対する「ありがとうのプロフェッショナル」になって欲しいと思います。

看護学科 大植 崇

